

もうすぐ
100周年

もっと
YCUを好きになる

The 100th anniversary
is coming!





伝統と革新の、その先へ
1928 - 2028

Road to the 100th Anniversary

創立100周年に向けて

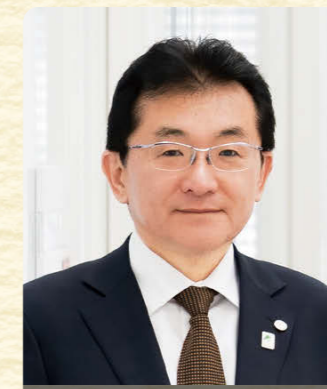
横浜市立大学は、2028年に創立100周年という大きな節目を迎えます。本学の歴史は古く、1928年に設立した横浜市立横浜商業専門学校(Y専)まで遡ります。その後、1944年設立の横浜市立医学専門学校(後に横浜医科大学)が統合され、幾多の組織変遷をたどりながら横浜市立大学として歴史と伝統を育んできました。

このリーフレットは、皆様とともにその長い歴史を振り返り、来る創立100周年をともに盛り上げていきたいという気持ちをこめて発行しました。

私たちは横浜とともに歩み、その歴史と伝統、そして未来は常に横浜とともにあります。これからも、横浜市立大学が時代の先端を走り続け、市民の誇りとなる

大学であるために、皆様の力が不可欠です。100年に一度の喜びを分かち合い、次の100年に向けて想いを新たに踏み出していきましょう。

ヨコハマとともに歩み、ヨコハマから世界に羽ばたくために。



第6代理事長 近野 真一



第23代学長 石川 義弘

画像と年表で見るYCU100年

【 ● 学部 ● 大学院 】

創立前史

- 1871 ● 横浜仮病院
- 1872 ● 横浜中病院
● 横浜共立病院
- 1874 ● 県立十全医院
- 1882 ● 横浜商法学校 (Y校)
- 1888 ● 横浜商業学校
- 1891 ● 横浜市十全医院
- 1898 ● 横浜市立十全看護婦養成所
- 1917 ● 横浜市立横浜商業学校



県立十全医院(1874)



横浜商法学校(Y校) 1882年



当時の学生(1800年代後半)

創立~10周年

- 1928 **横浜市立大学 創元年**
● 横浜市立横浜商業専門学校(Y専)
- 1944 ● 横浜市立経済専門学校
● 横浜市立医学専門学校
● 横浜市立医学専門学校付属十全医院
- 1949 **横浜市立大学 新制大学の設置認可 横浜医科大学設立**
● 横浜市立大学 (商学部)
● 横浜医科大学
● 横浜医科大学病院



大戦中の学生(1944)

~20周年

~30周年

- 1952 ● 横浜市立大学 (商学部・文理学部・医学部)
● 横浜市看護婦養成所



金沢八景キャンパス(1957)

~40周年

- 1961 ● 横浜市立大学 大学院 (医学研究科)



~50周年

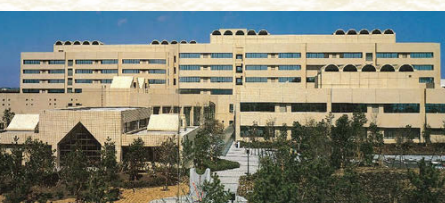
- 1970 ● 横浜市立大学 大学院 (経営学研究科・経済学研究科)
- 1971 ● 医学部付属高等看護学校



大学祭パレード(1966)

~60周年

- 1987 ● 福浦キャンパス 設置
- 1989 ● 横浜市立大学 大学院 (総合理学研究科)



福浦キャンパス(1987)

~70周年

- 1991 **福浦・浦舟、両病院体制の 確立**
● 医学部附属浦舟病院
● 医学部附属病院(福浦)
● 横浜市立大学 大学院 (経営学研究科〈博士後期課程〉)



いちょう並木(1995)

~80周年

- 2000 ● 医学部附属市民総合医療センター(浦舟)
- 2001 ● 鶴見キャンパス 設置
● 横浜市立大学 大学院 (総合理学研究科一連携大学院 / 生体超分子システム科学専攻)



- 2005 **公立大学法人 横浜市立大学 発足**
● 横浜市立大学 大学院 (国際総合科学研究科)(※1)
● 横浜市立大学 (国際総合科学部、医学部/医学科・看護学科)
● 大学附属市民総合医療センター(浦舟)
● 大学附属病院(福浦)

- 2009 ● 横浜市立大学 大学院 (都市社会文化研究科・国際マネジメント研究科・生命ナノシステム科学研究科)(※2)
- 2010 ● 横浜市立大学 大学院 (医学研究科看護学専攻〈修士課程〉)
- 2013 ● 横浜市立大学 大学院 (生命医科学研究科)



理科館お別れ会(2017)

(※1)生体超分子システム科学専攻・国際文化研究科を統合
(※2)国際総合科学研究科を再編
(※3)国際総合科学部を再編

~100周年

- 2018 ● 横浜市立大学 大学院 (医学研究科看護学専攻〈博士後期課程〉)
● 横浜市立大学 (国際総合科学部、データサイエンス学部、医学部/医学科・看護学科)
- 2019 ● 横浜市立大学 (国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部、医学部/医学科)(※3)
- 2020 ● みなとみらいサテライトキャンパス設置
● 横浜市立大学 大学院 (データサイエンス専攻〈博士後期課程〉)
- 2023 ● 横浜市立大学 大学院 (データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻〈博士後期課程〉)



金沢八景キャンパス(2019)

- 2028 **創立 100周年**



明日誰かに話したい！ YCUあるある13選

YCUには様々な「あるある」といふ都市伝説がいくつもあると言われて
います。今回、YCUで語り継がれてきたあるあるの数々をアンケートを
通じて収集。その中でも特に多くの方に語り継がれているものを厳選
して紹介します。
明日、誰かに話したくなる！

いちよう並木

- 1年次、いちよう並木が黄色く色づくまでに交際
相手ができないと、在学中は恋人ができない👉① P06
👉① P13



👉①いちよう並木 P06

動物

- 主な目撃情報→タヌキ、リス、キツツキ、アライグマ、
カニ、カメ、ネコ、アオサギ、ダンゴムシ(金沢八景)
👉①③④ P07 👉② P06
- アオサギには永遠に追いつけない(金沢八景)
👉④ P07
- かつて噴水だった「泉」。水溜りにメダカがいるので
と覗き込んでいる人がいるが、メダカはいない(福浦)
👉⑤ P08
- 猫を飼っている(鶴見)



👉②アライグマ P06



👉③カメ P07



👉④アオサギ P07



👉①ネコ P07

食堂

- コッペパンがすぐ売り切れる(福浦)
👉① P09
- 医学情報センターの職員に話しかけた後、1分以内に食堂で
定食の麦ご飯を大で頼むと、単位が手に入る(福浦)
👉① P09
- 太田さんの開発した麺、その名も「太田麺」というメニューが
学食にあった(福浦)
👉① P09
- 浦舟時代、近所の食堂(桜山食堂)へ行くのをドイツ語変換し、
「キルシュベルグ行く？」というオシャレがいた(附属病院)
👉① P09

👉①福利厚生棟 P09



時計台

- 受験生がくぐると合格する
👉① P07
- 間をくぐると単位を落とす、留年する、
(とりわけPEの)単位を落とす。恋人ができない
👉① P07
- 男女でくぐると恋が実る
👉① P07



👉①時計台 P07、👉② P13



ちなみに僕の特技は
マジック。
これもあるある？

👉③ P14



ロケ地

- 近年の撮影情報

【金沢八景】

〈ドラマ〉

「ブラッシュアップライフ」(2023年)

👉① P07 👉② P06

「初めて恋をした日に読む話」(2019年)

👉③ P07

「プロポーズ大作戦」(2007年)

👉④ P07

〈映画〉

「冷静と情熱のあいだ」(2001年)

👉⑤⑥ P06

他多数

【福浦・附属病院】

〈ドラマ〉

「シロでもクロでもない世界で、パンダは笑う。」

(2020年) 👉⑦⑧⑩ P08 👉⑨⑪⑫ P09

「アンナチュラル」(2018年)

👉⑬⑮ P08 👉⑭ P09

「救命病棟24時」(2013年)

👉⑯ P09

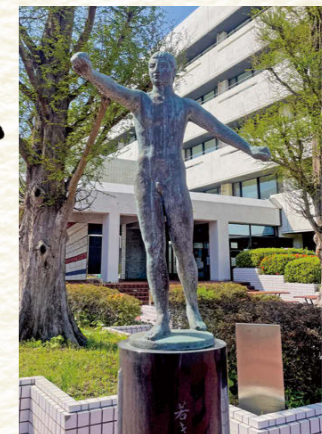
他多数



👉⑯福利厚生棟 P09



👉⑥旧学生掲示板前 P06



👉①若き日 P07



👉⑬渡り廊下 P08



キャンパスマップ 今昔

アイコン凡例
 ① ちょう並木 ② 動物 ③ 食堂 ④ 時計台 ⑤ ロケ地

金沢八景キャンパス

〔金沢八景キャンパス全景〕



1966年



現在

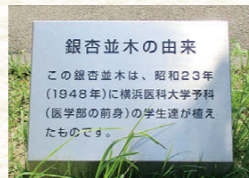
〔いちょう並木〕



1960年ごろ



現在



銀杏並木の由来
 この銀杏並木は、昭和23年(1948年)に横浜医科大学予科(医学部の前身)の学生達が植えたものです。
 並木の由来を伝える銘板

金沢八景キャンパスといえばいちょう並木。もともとあったわけではなく、戦後ほどなく学生有志によって植樹されました。

📍④ P04



キャンパス内の聖地巡りをする参考にしてね



📍② アライグマ P04

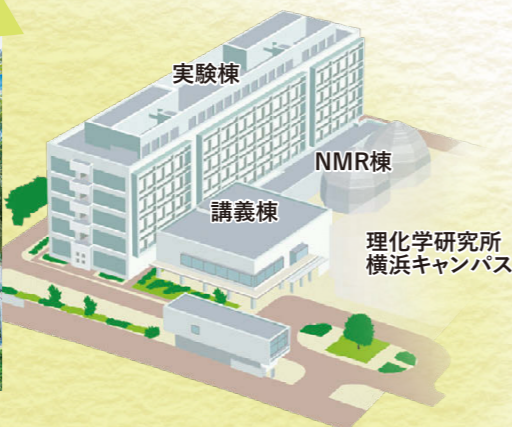


📍⑥ 旧学生掲示板前 P05



📍⑤ 本校舎中庭 P05

鶴見キャンパス



理化学研究所 横浜キャンパス



1959年



現在

YCUスクエアの立っている場所も、遡ればかつては体育館が立っていた場所。ちなみにYCUスクエアの設計は2024年にプritzカー賞を受賞した山本理顕氏、本校舎は村野藤吾氏、いちょうの館は飯田善彦氏と、それぞれ著名な建築家の手によるもの。

📍④ P12

〔YCUスクエア〕



📍③ カメ P05



📍④ アオサギ P04

〔時計台〕



1982年

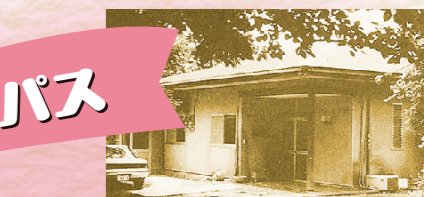


現在

キャンパスのシンボルともいえる時計台のある場所はかつて「十字路」の通り名で呼ばれており、中央には大きな木が植えられ、学生たちの集いの場にもなっていました。

📍④ P05

舞岡キャンパス



南区六ツ川移転(1957年)後の研究所



現在

〔医学部校舎〕



1982年



現在

左の写真は5年後に移転を控えた往時の校舎(南区浦舟町)。跡地は現在南区役所になり、「横浜市立大学医学部発祥之地」の石碑があります。



⑪ヘボンホール P05

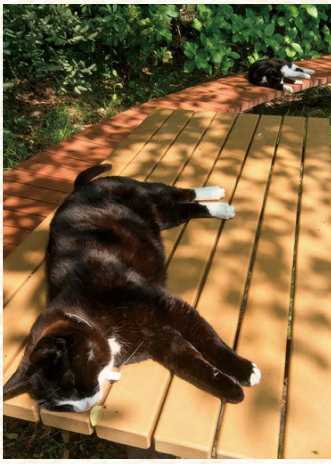
〔福浦キャンパス全景〕



1987年

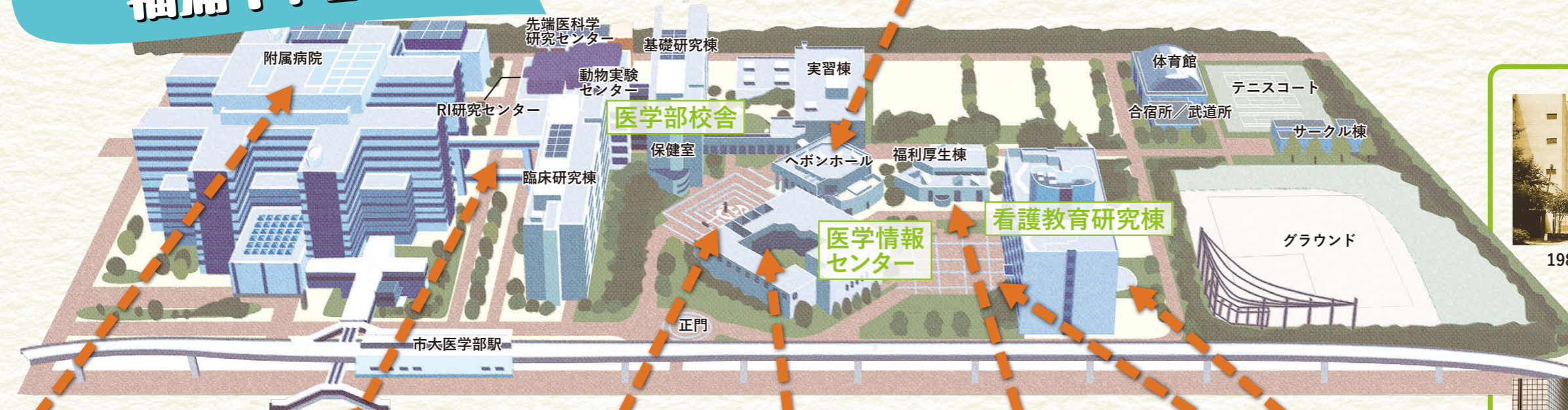


現在



ネコ

福浦キャンパス



〔看護教育研究棟〕



1980年代



現在

左の写真は高等看護学校時代(南区中村町)のもの。その後看護短大を経て2005年に医学部看護学科となりました。

⑫(屋上、レストラン跡地) P05



⑬渡り廊下 P05



⑦泉 P05
⑤ P04



⑧多目的学修スペース P05



⑯福利厚生棟 P05
⑩ P04



⑭看護教育研究棟 P05

⑯(駐車場) P05



⑨廊下 P05



⑩ロビー P05

⑫(大会議室、教室) P05

附属市民総合医療センター

〔医学情報センター〕



1987年



現在

出来たばかりのころは「コ」の字型の建屋が、改修・改築を経て、いまでは「ロ」の字型に。



1954年



1944年

現在

みなとみらい
サテライトキャンパス



横浜市立大学 みなとみらい
サテライトキャンパス
MIYAMA MINATOMIRAI
SATELLITE CAMPUS



100周年への カウントダウン



あれから
今年で
何周年？

大学のあゆみにはあまたの「周年」あり！ YCUは2028年に創立100周年を迎えますが、長い歴史を振り返れば、いつの年にもYCUにとって大事な出来事から「〇周年」が存在します。このページでは100周年までいよいよ4年を切った2024年から、100周年を迎える2028年までをカウントダウン形式で紹介しながら、過去の大変な出来事から何周年の節目に当たるかをご紹介します。

えっ、セブン-イレブン
できたのってそんな最近のことだったの？



2024年

100周年まであと

04年

2025年

100周年まであと

03年

完成から

50年

女子寮「萌生寮」 リニューアル！

2010年、惜しまれつつも閉寮したYCU学生寮の歴史は、学生が家主と交渉し、民間の下宿をYCU生だけが入居できるようにしたことに端を発します。多い時には男子寮3棟、女子寮1棟がありましたが、いずれも1970年代に入ると家主から明け渡しなどを求められたことから、大学として寮の建設を決定。男子寮は1972年3月に3寮を統合した「夕照寮」が完成。続いて女子寮の建設もスタートし、**1974年**8月に「萌生寮」が完成しました。なお萌生寮は閉寮後、2018年の春に解体されています。



萌生寮

開店から

10年

YCUライフに革命が！？ 「セブン-イレブン」遂にオープン

学生生活に癒しと潤いを与えるセブン-イレブンですが、オープンしたのはごく最近である**2015年**のこと。かつては談話室という名の喫茶スペースが営業していた場所であり、オープン初日には徹夜で遊ぶ学生が出るなど大盛況でした。セブン&アイ・ホールディングスのファウンダー・伊藤雅俊氏は本学OB。学生の奨学金制度にもご尽力いただきました。



談話室



セブン-イレブン

初出場から

70年

激走！箱根駅伝



箱根駅伝(1957年卒業アルバムより)

遡ること70年前にあたる**1954年**は、YCUが箱根駅伝に初出場を果たした記念すべき年でした。「初出場は最下位になる」というジンクス(?)に抗い、参加15校中14位と見事に完走。その後1964年までに計6回の出場を果たしました。当時は国公立大の関東甲信越体育大会でも多くの種目で優勝を飾っており、運動部の活動が一つのピークを迎えていた時期でもありました。

誕生から

70年

横浜市立大学 “医学部病院”誕生

市大医学部の起源は古く、1871年早矢仕有^{はやしゆうてき}によって開設された「仮病院」開設にまで遡ります。仮病院はその後、県への移管を経て「県立十全医院」と改称。さらに市へ移管され「横浜市十全医院」と改称されました。以降、医療従事者の教育機関としての機能も備え、1949年の横浜医科大学、同大学病院の設立へとつながっていきます。横浜医科大学はのちに本学と統合し、病院も**1954年**に「横浜市立大学医学部病院」と改称。以来、地域医療の要として今日へと至る礎を築いていきました。



横浜市立大学医学部病院

法人化から

20年

「公立大学法人」 横浜市立大学発足



シンボルマーク

2000年代に入ると文科省の大学改革方針、横浜市立大学のあり方懇談会の答申、横浜市長の号令などを受け、新たな大学像の確立に向けた議論と計画の策定が進められました。文字通り「市立大学改革」が進められることとなり、2003年10月に大学改革案「横浜市立大学の新たな大学像について」を作成。教育システムの大胆な改革、そして独立行政法人化により、市が有する意義のある大学に生まれ変わることを目指しました。2004年3月には公立大学法人としての定款を制定し法人化を決定。こうして**2005年**4月、横浜市立大学は「公立大学法人横浜市立大学」として、新たなスタートを切りました。

発表から

70年

♪ああ 浜大の俊英 われら♪ 横浜市立大学校歌、初お披露目！

1953年、校歌のないことを憂えた学生有志で発足された「校歌作成委員会」は、『横浜市大新聞』紙面に華々しく校歌の募集を行いました。しかし応募状況は芳しくなく、そのまま採用できる作品はありませんでした。委員会ではこれらを素材として、作詞を「青山脈」で著名な西条八十氏に、作曲を「六甲おろし」や数々の大学応援歌で実績のある古閑裕而氏にそれぞれ依頼。**1955年**6月、晴れて校歌発表会を開催するに至りました。



校歌原稿(抜粋) 校歌原稿(全体)

ほかにもあるよ〇周年

開設から
40年 外国人留学生寮(1984年)

ほかにもあるよ〇周年

設置から
20年 国際総合科学部、医学部看護学科
(2005年)

移転から
30年 木原生物学研究所(1995年)

2026年

100周年まであと
02年

2027年

100周年まであと
01年

完成から
10年 大学の新たなランドマーク
YCUスクエア完成

📍④ ➡P07

2016年春に完成したYCUスクエアは、YCUの新たなランドマークとして学生同士、学生と教員、地域の人々と学生・教員が積極的に活動・交流するスペースとして活用されています。内部はスチューデントオフィス、学生支援事務室、ピオニーホールなどの施設で構成され、環境に配慮した設計を採用。吹き抜け空間などで自然エネルギーを利用し、外部テラスで自然通風を取り込んで換気が効果的に行われています。



YCU スクエア

設置から
20年 We use English to learn English.
PEセンター設置

📍② ➡P05

YCUの英語教育全般を統括し、英語を学ぶだけでなく使えるようにするという理念のもとにスタートしたのが、プラクティカル・イングリッシュ・センター(PEセンター)です。2007年4月に設置され、少人数教育やe-ラーニングの導入、充実したカウンセリング体制でYCUの英語教育の中核を担っています。



PE センター



コロナ禍出動時の様子

指定から
10年 災害対策の要
**附属病院、センター病院に
続いてDMAT-L指定病院に**

2014年3月の附属市民総合医療センターの指定に続き、2016年3月には附属病院がDMAT-L指定病院に指定されました。DMAT-Lとは「Disaster Medical Assistance Team-Local」の略で、災害発生から48時間以内に救急治療を行える専門的な訓練を受けた医療チームであり、原則として県内の被災地内で活動を行い、神奈川県では33の災害拠点病院と5つの災害協力病院が指定されています。ちなみにDMATは、県域を越えた広域な活動も対象としています。

問題発生から
70年 まさか市大が国大に!?
国立移管問題起こる

1957年、横浜市議会に「横浜市大特別委員会」が設けられ、国立移管問題が取り上げられました。横浜市にとって大学を維持する予算が過重な負担になっていたのです。5月17日に開催された特別委員会で、出席した3学部長は「国大合併に反対」を表明しました。この「国立移管問題」は、1960年にかけて2度の波となってYCUを襲いました。最終的には関係者間での粘り強い交渉と調整の末、YCUは教育の自主性を守りました。



開校から
80年 医専から医科大学へ!
横浜医科大学予科開校 📍① ➡P04

1944年、太平洋戦争の戦況悪化の中、軍部や文部省から「商業学校は戦争に不要だから廃校にせよ」という圧力が強まりました。Y専の存続が危ぶまれる中、横浜市は前線で必要とされる軍医を養成する医療専門学校を新設するという条件でY専の存続を図り、同年4月にY専を縮小、のちの医学部の前身となる横浜国立医学専門学校が開校されました。しかし3年後の1947年、学制改革により医療教育は大学で行うことが決定。これを受けて医療専門学校の多くは、まず旧制医学部か医学部に昇格したのち、新制大学へと移行するステップを踏みましたが、横浜市立医学専門学校はダイレクトに新制の医科大学への昇格の道を選択。現在の金沢区六浦に「横浜医科大学予科」を開校し、新制大学医学部の開校に備えました。



横浜医科大学予科

開設から
20年 横浜のシンボル・
**ランドマークタワーへ移転
エクステンションセンター開設**

2006年4月、「よこはまアーバンカレッジ」として上大岡(港南区)で開講していた生涯学習講座を横浜ランドマークタワー 13階へと移転。「エクステンションセンター」として開設するとともに、高校生を対象とした高大連携プログラムを企画するなど講座の幅を拡充しました。なお、2009年には同所から金沢八景キャンパスへと拠点を移し、YCU講師による講座を増やすなど一層の内容充実を図りました(その後、「地域貢献センター」に改称)。

エクステンション講座の案内 (2024年秋)



2028年

100周年まであと

00年

誕生から

20年 公式キャラクター「ヨッチー」誕生

横浜市立大学公式キャラクター「ヨッチー」は、大学創立80周年記念特別企画として2008年に誕生しました。イチヨウ並木から生まれたイチヨウの精で、空気のかいれいな金沢八景に植樹されたことを感謝しているという設定です。2007年10月から「市大キャラクターを検討するプロジェクト」が8名の学生により発足、キャラクターの原案づくりから、学内へのプレゼンテーション、在学生、卒業生、教職員の投票を経て選定されました。

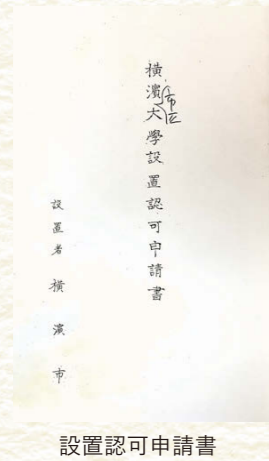


愛称の応募用紙

名称決着から

80年 「横浜大学」争奪戦

1948年、本学は文部省に対し、市立経済専門学校・同医学専門学校・同医科大学予科を一丸とした「横浜大学」の設置認可申請書を提出。市の教育文化向上を目指し大きく舵を切りました。しかし、ほぼ同時期に横浜市内の官立・私立学校法人がそれぞれ、同一の「横浜大学」で設置認可申請書を提出したことが判明。大学設置委員は市立(本学)・官立・私立の3グループに対し、名称の調整を勧告しました。その結果、私立グループ(横浜専門学校)が「神奈川大学」と譲歩。市立グループ(本学)は「横浜市立大学」、官立グループが「横浜国立大学」と、それぞれが歩み寄り、決着がつかしました。



設置認可申請書

創立から

100年 横浜市立横浜商業専門学校(Y専)創立!

横浜市立横浜商業高等学校(Y校)は1924年4月の学則改正によって、本科5年制と2年の専修科を設置しました。しかし文部省はこれを認めず、5年制の甲種商業学校に改正するように通達してきました。やむなくY校は発想を逆にして5年制中学校の上に専修科2年を併設。この2年制の専修科が1928年に3年制に延伸され、横浜市立横浜商業専門学校(Y専)へと昇格していきました。これによって横浜市として初めての公立高等教育機関が誕生したのです。

創立
100周年!



横浜市立横浜商業専門学校(Y専)

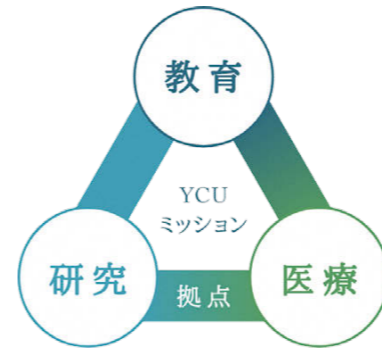
ほかにあるよ〇周年

- 設置から10年 (2018年)
- データサイエンス学部発足から50年 (1978年)
- 市民文化研究センター竣工から50年 (1978年)
- 文科系研究棟

YCU Vision 100

YCU Vision 100、それはYCUが歩んできた歴史の足跡を振り返り、これからの厳しい時代を見据え、次の100年に向けて想いを新たに踏み出すための、未来への誓い。

変わらぬ使命であるYCUミッションを核とし、教育・研究・医療を軸に、時代に果敢に挑み、さらなる発展を目指します。ヨコハマとともに歩み、ヨコハマから世界に羽ばたくために。



4つの重点事業

- 教育 「ヨコハマから世界へ羽ばたく」グローバル人材の育成
- 研究 「世界をリードする」研究成果の創出と市民への還元
- 医療 「医療の知の創生・発信」附属病院の機能強化・再整備
- 拠点 国際交流と知的資源を還元する拠点形成

YCUミッション

国際都市横浜とともに歩み、教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学

記念事業プロジェクト

100周年を迎える2028年までの間、YCUビジョン100を推進する4つのプロジェクトを展開します。

01

ビジネス人材育成・留学支援プロジェクト

02

新たな研究創生プロジェクト

03

学生生活・環境改善プロジェクト

04

医学部・病院再整備プロジェクト

100周年事業に関する詳細はコチラ
<https://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~anniversary/>



YCU100募金へのご支援のお願い

YCU Vision 100の実現を目指し世界で活躍する優れた人材の育成や新たな研究創生、キャンパス環境整備を推進するため「YCU100募金」を設置しました。皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 一口あたりの金額は定めておりません。
- インターネットからお申込みいただけます。
- 税制上の優遇措置や手続きについてはWebサイトをご覧ください。
- 詳しくは大学Webサイトまたはリーフレットをご覧ください。

寄附の目的

- 00 大学一任(YCU Vision 100を達成するため活用)
- 01 ビジネス人材育成・留学支援プロジェクト
- 02 新たな研究創生プロジェクト
- 03 学生生活・環境改善プロジェクト
- 04 医学部・病院再整備プロジェクト

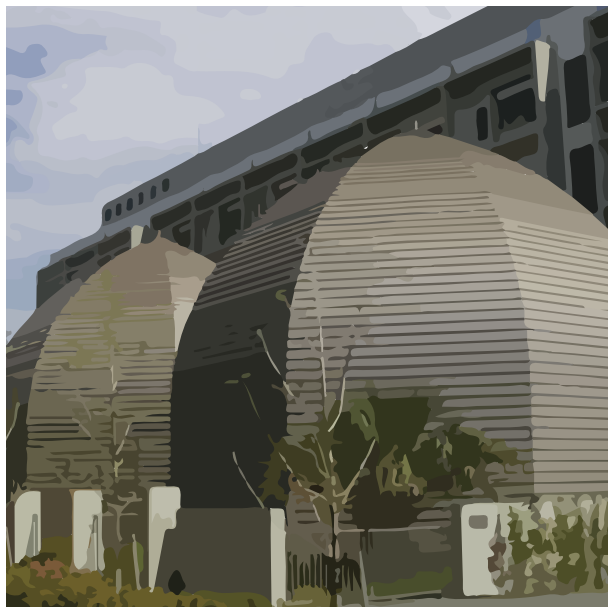


税制上の優遇措置の詳細



YCU100募金Webサイト

問い合わせ先 卒業生・基金担当
 TEL : 045-787-2447
 E-mail : kifu@yokohama-cu.ac.jp



ひらく×つなぐ=かがやくYCU
横浜市立大学

発行日：2024年10月31日
編集発行：横浜市立大学百年史編集部
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
TEL 045-787-2076
E-mail hyakunen@yokohama-cu.ac.jp

